



富山県

No.75 2015年4月

中央植物園だより



第17回私の植物写真展応募作品「眩美」 撮影 / 砂原茂さん

チヨウキンレン (バショウ科)

チヨウキンレン「地涌金蓮」は中国雲南省原産で、名前のように黄金の蓮の花が地面から湧き上がるような姿をしたバナナの仲間です。

今年のサクラ「フゲンゾウ (普賢象)」

富山県中央植物園では毎年「今年のサクラ」を決めて、その種類の紹介や植物画の展示を行っています。2015年は栽培品種「フゲンゾウ」(普賢象)です。この品種がハナミズキの返礼としてアメリカに贈られてから今年で100年にあたることから、選定されました。このサクラは園内のサトザクラの桜並木で4月下旬に見ごろとなります。また、園内のインフォメーションコーナーでは「フゲンゾウ」の植物画の絵はがき(4枚1組)も販売しております。



「植物園でバードウォッチング」 開催レポート

平成 26 年 12 月 7 日（日）「植物園でバードウォッチング」が日本野鳥の会富山との共催で開催されました。中央植物園において全国一斉ガン・カモ調査が毎年行われており、県内で種類数・飛来数とも有数のカモが集まる場所として知られています。「植物園でバードウォッチング」は、来園者が少ない冬の屋外展示園での行事として平成 22 年度からはじめられました。

今回は 12 月 5 日の降雪の影響が心配されましたが、池は完全に凍っていませんでしたので、カルガモやマガモなどのカモ類のほか、ハヤブサやオオタカが池周囲の樹上にいるのが観察されました。観察終了後は研修室で、「鳥合わせ（出現種のチェック）」やカモ類の見分け方の講演会が開催されました。参加された皆様、寒い中お疲れ様でした。

最近イベントに関係なく植物園内で鳥を観察されている方をよく見かけるようになりました。植物園も開園から 20 年経ち、多くの生き物が集まる環境が整ったことでこのようなイベントができるようになりました。



サンライトホールを出てすぐの水上デッキから北池に集まった野鳥を観察。



池が一部シャーベット状になっていたが、それ以外の場所に集まっているカモ類を観察。



南池に移動して観察。参加者の視線の方向には何がいたのかな？



通称「パンダガモ」とよばれるミコアイサのペアも確認された。

第 2 回クリスマスローズ展

2 月 20 日（金）～ 22 日（日）に富山クリスマスローズの会との共催で「第 2 回クリスマスローズ展」を開催しました。

今年はクリスマスローズの野生種や栽培品種約 80 鉢のほか、*Helleborus foetidus*（フェチダス）や *H. atrorubens*（アトルRubens）などの原産地である東ヨーロッパ等の自生地の写真パネルを展示、紹介しました。

また 21 日にはクリスマスローズの自生地についての講演会を、22 日には栽培講習会も合わせて開催しました。当日は天気にも恵まれ、多くの来場者がありました。



1 鉢 1 鉢熱心にご覧になる方が多く見られた。

植物園トピックス

サンライトホールの天井画を一新しました

サンライトホールでは4年前から照明用バトントラスに取り付けた遮光カーテンに天井画を設置し、入園者特にお子さんより好評を得ておりました。1月中旬より遮光カーテンを新しくするにあたり、天井画を一新し、春夏秋冬の景色を楽しめる内容になりました。

写真右) 天井画が描かれた遮光カーテンを高所作業車を使って設置。



研究紹介◎「パラグアイオニバスの種子における2型とその発芽特性果」

企画情報課主任研究員 兼本 正

スイレン科オオオニバス属のオオオニバスとパラグアイオニバスは水面に巨大な葉を浮かべることでよく知られ、どちらも南アメリカの熱帯域に分布する水生植物です。富山県中央植物園では2007年からパラグアイオニバスの栽培に取り組み、直径1.5mの葉を展開させるまで生育させることに成功しました。2008年以降、園内屋外の約1ヘクタール池には50株のパラグアイオニバスが直径1.5mの葉百数十枚を水面に浮かべている姿を見ることができます。夏休みには体重30kg以下の小学生を対象に、パラグアイオニバスの葉に乗るイベントを行い(図1)、夜は「夜間開園」でパラグアイオニバスの花を觀賞するイベントを開催しております。

2つの種子

完熟した果実中には「白い膜で包まれた種子」と「裸の種子」が混在しています(図2)。「白い膜で包まれた種子」は膜内の空気によって水面に浮くことからパラグアイオニバスは水流散布型であることを示しており、「白い膜で包まれた種子」は成熟した種子であると考えられます。「白い膜に包まれた種子」を2009年～2014年の5年間保存していますが、発芽は一定せず、数十個や数個の種子の発芽が確認された年もあれば、発芽が全く確認されない年もありました。「白い膜で包まれた種子」は休眠状態あるため、発芽時期や発芽数を予測することは不可能であり、また保存している種子が休眠しているのか、腐っているのかわかりません。「白い膜」の形成は種子の休眠と関係があることが明白です。

一方「裸の種子」は白い膜が形成されていないので、これらの種子は未熟であると推察されます(図2)。ところが果実から取り出した「裸の種子」を直ちに25℃の水中に浸すと3カ月の間に次々と発芽することから、未熟と推察される「裸の種子」は発芽能力を有していることがわかります。しかしその際発芽しない種子はやがては全て腐ってしまうことから、「裸の種子」は保存して利用することはできません。

研究成果を展示とイベント開催へ生かす

毎年8月に園内の池に迫力あるパラグアイオニバスを展示



図1(写真上). 園内のパラグアイオニバス。直径1.5mまで発達した葉に乗るイベント「オオオニバスに乗ってみよう」が開催される。図2(写真右上). パラグアイオニバスの水面に浮いた「白い膜に包まれた種子」と水底に沈んだ「裸の種子」。



図3. 2009年に大量に完熟した果実が採取された。

し、葉に乗るイベントや花を觀賞する夜間開園を実施するためには、毎年4月に種子をまいて苗を作り、育てなければなりません。展示やイベントを予定通り実施するためには確実に発芽する「裸の種子」を使用することが有効です。しかし「裸の種子」は保存できない欠点があり、毎年成熟した果実から「裸の種子」を得る必要があります。2009年には成熟した果実が大量に得られましたが(図3)、2010年以降は結実しても、成熟した種子を形成するほどに発達した果実はわずしか得られませんでした。成熟した果実が得られない場合は長期保存されている「白い膜に包まれた種子」を使用するしかありません。しかし「白い膜に包まれた種子」は休眠状態にあるため、発芽時期と発芽数を予測することはできません。パラグアイオニバスの安定した展示と関連するイベントの開催には、成熟した果実を得るための諸条件の解明と休眠状態にある種子の発芽をコントロールする処理を見出す必要があります。

植物園の月例行事と講習会 その4 植物画講習会・植物写真教室

今年度は植物園で定期的に行っている月例行事や講習会を紹介しています。今回は植物画講習会と植物写真教室です。

植物画講習会は開園当初から、植物を観察して理解を深める方法の1つとして初心者を対象に始められました。受講者の中には友の会植物画部会に入会して植物画を継続する方も増えてきました。植物写真教室「やさしい花の撮り方」は平成10年から富山県写真家協会との共催で、園内においてプロの写真家から植物を撮影するコツを指導していただいています。



植物画講習会の講習風景。講師の豊田路子先生のご指導で、鉛筆で輪郭を下書きしてから、透明水彩絵具を使って彩色していきます。1日の講習で1点の作品完成を目標に描かれます。



富山県写真家協会の皆様のご指導によって、園内でお気に入りの植物を撮影します。撮れた作品を見ながらその場でアドバイスを受けられます。

催し物のご案内

■企画展示 サンライトホール

企画展には入園料が必要です。

北陸新幹線開業記念「富山でお花見」
3月13日(金)～4月29日(水・祝)

第36回春のラン展
5月2日(土)～5月5日(火・祝)

私の植物画展
5月8日(金)～5月27日(水)

さつき展
5月29日(金)～5月31日(日)
6月5日(金)～6月7日(日)

一日蘭展
6月28日(日)

■特別行事

高山植物室リニューアルオープン
4月24日(金) 9:00～

高山植物室リニューアルオープン
記念講演

4月26日(日) 13:30～15:00
会場 ドリアスホール
入園料が必要です。

■特別開園

第4回さくらまつり

4月上・中旬の土日を含む4日間
(開花状況により変更することがあります)
特別開園/200円

■講座・講習会

★栽培講習会「ランの栽培と管理」

5月4日(月・祝)・5日(火・祝)
14:00～15:30
会場 ドリアスホール
入園料が必要です。

★植物写真教室 ◎要申込

「やさしい花の撮り方」

5月10日(日) 13:00～16:00
会場：管理研修棟研修室

植物画講習会 ◆要申込

5月23日(土)・24日(日)
10:00～16:00
会場：管理研修棟研修室
定員：各日とも30名
※両日とも同じ内容です。
どちらかご希望日をお申込ください。

■月例行事

月例行事には入園料が必要です。

緑のコンサート

5月2日(土)、6月6日(土)、
7月4日(土)
14:00～15:00

植物ガイド

ーボランティアと歩く植物園ー
第1,2,4日曜日 13:30～14:00

ー園長と歩く植物園ー
第3日曜日 13:30～14:00
集合場所/サンライトホール

◎要申込 事前の申込が必要です。
申込は1ヶ月前から前日までに「電話」
でお申込ください。

◆要申込 事前の申込が必要です。
申込は1ヶ月前から往復はがき、
FAX、メール (botanic@bgty.org) で
受け付けます。

★印は植物園ボランティアの養成講座です

富山県中央植物園 入園案内

開園時間 9:00～17:00(入園は16:30まで)
(11月～1月は9:00～16:30、入園は16:00まで)

休園日 毎週木曜日
(4月中とGW、お盆、祝日の場合は開園)
年末年始(12月28日～1月4日)

入園料 大人(一般および大学生) 500円
団体料金(20名以上) 400円
高校生以下通年無料
冬期入園料(12月～2月)
大人(一般および大学生) 300円
団体料金(20名以上) 240円
高校生以下通年無料
年間パスポート(購入日より1年間有効) 2,000円

交通案内 JR富山駅から、富山地鉄バス「ファボーレ」経由萩の島循環または「ファボーレ」
経由速星行き(休日のみ)に乗り「中央植物園口」停留所下車、徒歩約12分/富山市
中心部より車で約15分/北陸自動車道富山インターより車で約15分/JR速星駅より車で約8分